

平成30年度に向けた経営戦略部の施策の基本方針

平成29年11月定例会(付託)
総務委員会資料
経営戦略部

～ヒト・モノ・カネ・情報 の観点から「一歩先の未来」を見据えた県庁強靱化を加速～

ヒト 働き方改革の推進

現状と課題

- ・超過勤務時間数が3年連続で増加
- ・H28年度の月80時間超の超過勤務者が過去10年で最大
- ・職員の育児、介護負担の増加

これまでの取組み

- ・超過勤務時間数の「見える化」
- ・管理職員のマネジメント強化
- ・テレワークの推進、フリーアドレス制の導入による「新しい働き方」

H30年度施策方向性

- ◆ 場所に縛られない働き方の推進
- ◆ 行政分野におけるAI等の活用
- ◆ ライフステージに応じた柔軟な働き方の推進
- ◆ 地方創生を担う人財育成の推進



モノ 公共施設の戦略的・効率的な管理・運営

現状と課題

- ・老朽化が進行する庁舎等が増加
- ・本来利活用されるべき未利用財産が増加
- ・県内企業のPPP/PFI手法に関する知識・技術の習得が必要

これまでの取組み

- ・「公共施設等総合管理計画」に基づき、「詳細現況調査」を実施
- ・「既存ストック有効活用計画」の積極的活用

H30年度施策方向性

- ◆ 庁舎の改修等による機能強化の推進
- ◆ 公共施設の長寿命化と既存ストックの有効活用
- ◆ 官民連携による資産活用力の向上



カネ 強靱でしなやかな財政基盤の確立

現状と課題

- ・実質公債費比率が全国ワースト10位
- ・安定的な地方一般財源総額の確保が必要
- ・ネーミングライツをはじめとする広告事業など歳入対策収入は横ばい

これまでの取組み

- ・財政運営の羅針盤となる「新たな基本方針」の推進
- ・知恵と工夫を凝らした歳入・歳出改革を推進

H30年度施策方向性

- ◆ 資金調達における「マネジメント機能強化」
- ◆ 「外部資金」等の更なる活用
- ◆ 「若手タスクフォース」からの「柔軟な発想」を積極的に活用
- ◆ 徳島発の新たな行政手法の推進



情報 先端技術を活用した更なる情報発信

現状と課題

- ・活字離れが進む若者向けの情報発信対策の強化が必要
- ・マイナンバーカードの活用不足

これまでの取組み

- ・県ホームページをリニューアル
- ・県職員全体の情報発信力の強化
- ・マイナンバーカードを事務用PCのログイン認証に使用

H30年度施策方向性

- ◆ クロスメディア戦略による広報展開
- ◆ 情報ネットワークの強靱化
- ◆ 徳島発！地域課題解決への取組

徳島は宣言する
VS 東京

「県庁強靱化」の加速に加え、「地方創生」をリードする進化する「徳島モデル」を国内外に発信！